

平成20年2月15日

厚生労働省老健局 御中

経済産業省商務情報政策局

サービス産業課医療・福祉機器産業室

製品安全課製品事故対策室

介護ベッド用手すりによる重大製品事故について（注意喚起）

製品安全行政の推進につきまして、日頃よりご理解・ご協力いただいておりますことを感謝申し上げます。

さて、昨年5月14日より改正消費生活用製品安全法が施行され、消費生活用製品に関係する重大製品事故（死亡、治療期間が1ヶ月以上の負傷・疾病、火災等）に関しては、国に対する報告書の提出が製造事業者・輸入事業者には義務付けられたところですが、このうち介護ベッド用手すりに関する重大製品事故が本年2月1日までに5件報告されています。

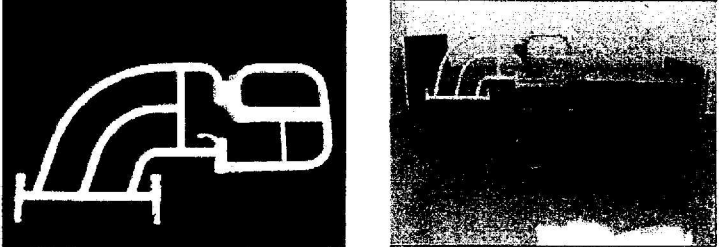
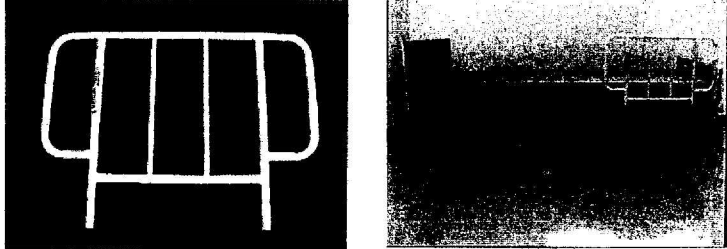
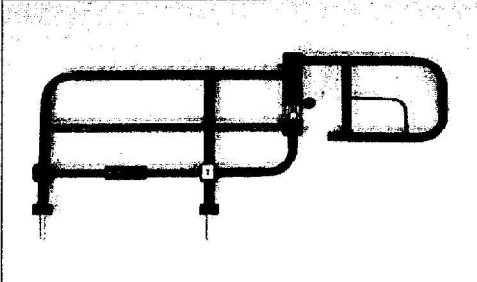
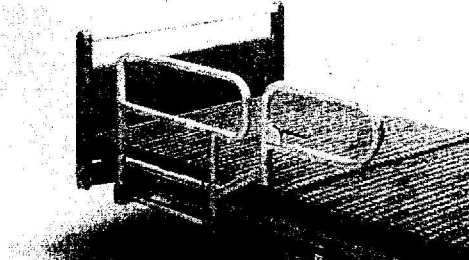
当省としては、これまでも製品事故の再発防止を図るべく、重大製品事故の公表等を通じて使用者等への注意喚起を図っていたところですが、当該製品が高齢者・障害者において広く使用されていること及び重大製品事故が頻発している状況を鑑み、より一層の周知を図る必要があるとして改めて注意喚起を行うこととしましたので、関係団体等への周知をお願いします。

また、重大製品事故の発生を未然に防止するためにも、重大製品事故に至らない軽微な事故やヒヤリ・ハット事例を知ったときには独立行政法人製品評価技術基盤機構（nite）による情報収集にご協力くださるよう併せてお願いします。

以 上

介護ベッッド用ハンドリに関する重大製品事故紹介

公表日	事故発生日	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故原因	事故発生都道府県	備考
平成19年6月12日	平成19年5月10日	PZR-K900TAH	㈱7'ラック	死亡1名	着衣がベッドの手すりの固定用ノブに引っかかり、頸部圧迫を起し、窒息により死亡した。	当該事故は、スイングアームを固定せずに使用した際に、固定ノブが着衣の首部分に引っかかることにより発生したものと推定される。固定ノブの形状は、球状であり引ひかかる等による危険性は低いものと考えられるが、事故発生時の被害者の状態及び行動が明らかでないため、原因の特定には至らなかった。	兵庫県	
平成19年11月20日	平成19年10月22日	SE-07NHC	フランスベッド㈱	重傷1名	使用者が当該製品を使用して、立ち上がった際に、当該製品の隙間に腕が挟まり怪我を負った。	事故原因は、当該製品を掴んで立ち上がったが、隙間が狭く、腕が挟まれ、腕の骨が折れた。製品は、腕が挟まれるものではないが、挟み込みのリスクについては十分な周知等が望まれる。	大阪府	
平成19年12月21日	平成19年11月4日	KA-095	パラマウントベッド㈱	重傷1名	手すりに掴まりベッドから立ち上がった際に、手すりの固定部分に腕が挟まれ、肋骨にひびが入った。	事故原因は、使用に伴うロックレバー部の機構と手すりに掴まることで、ロックレバーに負荷がかかっていたことにより、固定されていたロックが解除されてしまい、事故に至ったものと思われる。	東京都	平成20年2月15日からリコール実施
平成20年1月25日	平成19年12月25日	SE-07	フランスベッド㈱	死亡1名	当該製品の隙間で首を吊った状態で発見され、病院に運ばれたが死亡した。	事故原因は、目撃者がおらず、事故の発生状況が不明であるものの、手すりのサイドレール部が製造時とは逆の方向で取り付けられていたことから、当該隙間が増大しており、事故に至ったと思われる。サイドレールの逆方向の取り付けによる挟み込みの増大についての十分な周知等が望まれる。	愛知県	
平成20年2月1日	平成20年1月21日	KA-19 及び KA-095	パラマウントベッド㈱	死亡1名	ベッドの手すりと手すりの間に、ベッドの外側から首が挟まれた状態で発見され、病院に運ばれたが死亡した。	ベッドに寝る際に事故が発生したものであるが、目撃者がおらず、事故の発生状況の詳細が分かった。ベッドに寝る際の特定には至らなかった。ベッドには複数の手すりを組み合わせて使用するため、製品の形状等により、手すりと手すりの隙間は千差万別であり、隙間をなくすることは不可能であり、隙間の挟み込みリスクについての十分な周知等が望まれる。	香川県	

事業者名	機種・型式	図
パ・ラマウントベッド(株)	KA-095	
	KA-19	
(株)フ・ラッツ	PZR-K900TAH	
フランスベッド(株)	SE-07	
フランスベッド(株)	SE-07NHC	